



就農・移住を考える時はココを

CHECK!!

これを見ているということは、あなたは農業を始めたんですね？
始める場所は、もう決めましたか？
もしまだ悩んでいたら、移住希望地が下のチェックリストを満たしているかどうか確かめてみるといいかもしれません。

POINT.
01

短期視点でチェック！

農業をはじめる！

ちょうどいい農地がある	☒ YES	☐ NO
ひとつの窓口にて何でも相談できる	☒ YES	☐ NO
住める家と、移住の経済的支援がある	☒ YES	☐ NO
研修期間中、経済的支援が受けられる	☒ YES	☐ NO
農業研修が受けやすい	☒ YES	☐ NO



POINT.
02

長期視点でチェック！

農業をつづける！

農業で生活する見通しが立つ	☒ YES	☐ NO
収益を得るまでの期間、手厚い支援制度がある	☒ YES	☐ NO
農業について相談できる先輩がいる	☒ YES	☐ NO
生活するのに十分な便利さがある	☒ YES	☐ NO
住んでいる人が「住み良い」と思っている	☒ YES	☐ NO

実は、

田村市は、全部YESです。

福島県田村市への「就農」、「移住」に関するご相談はこちらまで。

お問い合わせ



たむら移住相談室
福島県田村市移住ワンストップセンター

050-5526-4583

Mail / contact@tamura-ijyu.jp

発行／ 福島県田村市

運営／たむら移住相談室
福島県田村市船引町石森字館108

自分らしく生きよう
たむら暮らし

HP



facebook



instagram



狙え!! 一攫千金 畜産



めざせ!
年収3,000万

ピーマン トマト 畜産推し

田村市

福島県

思ってるより 大変じゃない

POINT.
01

労力が軽減

ICT機器の活用により、牛の管理にかかる労力が軽減されてきている！

POINT.
02

高値な単価

近年、販売単価が高値で推移している！！

POINT.
03

休みも取りやすい

ヘルパー制度を有効活用すれば休みが取れる！

だから、畜産がおすすめです

始めるなら、「ほどよい田舎」
福島県田村市が
ちょうどいい。

夏が涼しく、しっかり寒暖差がありながら、雪は少ないのが田村市。
夏秋野菜のピーマンやトマトをメインに、
秋～冬はブロッコリーやふきのとうを作るなど、年間を通した収入の見通しが立てやすい環境です。

田村市

もし、田村市で畜産をはじめたら？

肉用牛は近年、販売単価が高値で推移。

ICT機器の活用により、牛の管理にかかる労力も軽減されています。

●年間スケジュール例

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					牛の世話 (給餌や畜舎の清掃、出産介助など)						

●初年度の収支モデル例

肉用牛	母牛	子牛		
	20頭	15頭	売上合計	経費
			11,250,000円	7,300,000円
				所得※
				3,950,000円

※労働力は夫婦+臨時雇用1名を想定。

※経費削減には、自給飼料の確保がポイント！

※新規就農者向けの補助金を除いた所得額。

田村市で畜産農家をお得に始める！！

原子力被災12市町村農業者支援事業

原子力被災12市町村において営農再開や規模拡大、新規作物の導入を図るための機械、施設等の導入費用の支援を行います。

補助内容：農業用機械、農業用設備等の導入費用について事業費の3/4(上限1,000万円)を補助。

※市が特に認めた場合、上限が3,000万円となります。

主な要件等：田村市の認定新規就農者であること等

※この事業は、原子力被災地域の営農再開等の支援を目的としたものです。

活用にあたっては、様々な要件があります。

畜産初期投資※		
44,000,000円		
母牛購入費	機械等購入費	
14,000,000円	30,000,000円	
青年等就農資金	原子力被災12市町村 農業者支援事業	自己資金
14,000,000円 ※70万の母牛20頭分	22,500,000円 補助率 3/4	7,500,000円 ※農業近代化資金 (融資)でも可

※初期投は畜舎・たい肥舎・倉庫・トラクター・母牛・牧草関係機械を想定。

※あくまで目安です。この他にも機械・資材は必要になります。

他にもたくさんの支援制度がございます。詳しくは「たむら暮らし」をご覧ください。

